

2026年度大学院修士課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 国際言語教育専攻	日本語学・日本語教育に関する問題

問題1と問題2の両方に答えなさい。

【問題1】 次のA群から1問、B群から1問をそれぞれ選んで、解答しなさい。

< A 群 >

1. 現代日本語の形容詞の分類、用法、文法的特徴について、用例を用いて具体的に説明しなさい。
2. 現代日本語の数量詞の浮遊現象について、用例を用いて具体的に説明しなさい。

< B 群 >

3. ピア・ラーニングを日本語指導に取り入れた場合、どのような教室活動や授業ができるか、具体的に説明しなさい。また、その効果とは何か説明しなさい。
4. 日本語動詞の「活用の種類」と「活用形」を教える際、どのように、何を、どの順番で教えるかについて、留意点とともに説明しなさい。

【問題2】 次のA群から2つ、B群から2つの用語をそれぞれ選んで、解説しなさい。

< A 群 >

1. ラ行子音
2. 並列助詞
3. 中立叙述
4. 対者敬語
5. 芳賀綏

< B 群 >

6. T B L T
7. シラバス
8. リソース教材
9. FonF (Focus on form)
10. コーダー

解答または解答例：

Sample Answer(s) or Outline:

【問題2】

< A 群 >

解答例

1. ラ行子音 日本語のラ行子音の標準的な音価はそり舌弾き音である。国際音声字母では[r]で表記される。ただし、音素としては異音の幅が広く、英語の[r]音、[l]音、中国語の[ʐ]音なども日本語ではラ行子音と認識される。
2. 並列助詞 名詞と名詞を並べて示す助詞。全部列举の「と」、部分列举の「や」「とか」「だの」「やら」、選択的列举の「か」「なり」がある。
3. 中立叙述 米国で活躍した日本語学者の久野すすむはハとガの機能を説明する際にガには「総記」と「中立叙述」の2種があるとした。「総記」（例. あいつが犯人だ）は焦点を主部、前提を述部の場合、「中立叙述」（例. 雨が降っている）は前提が存在せず、文全体が焦点であるような場合を指す。
4. 対者敬語 敬語の対象が誰であるかによって「対者敬語」と「素材敬語」の区分がある。基本的に尊敬語と謙譲語は素材敬語で、丁寧語は対者敬語だとされているが、謙譲語のなかにも聞き手を意識して用いる対者敬語が存在し、現在は丁寧語という別の区分名称が与えられるようになった。
5. 芳賀綏 国語学者。1940～50年代に、文を完結させる働きを指す陳述がどこにあるかという陳述論争の終盤に登場し、述定と伝達という2種の陳述があると述べ、その後のモダリティ論につながる理論を残した。

【問題2】＜B群＞

解答例

6. TBLT

タスクを重視した教授法（Task-Based Language Teaching）のことで、現実的なコミュニケーションに近づけるための様々なタスク（課題）を学習・教室活動の中心に置いている。具体例、ジグソー・タスク、インフォメーション・ギャップ・タスク、問題解決タスクなど。

7. シラバス

学習項目、「何を教えるか」を一覧にしたもので、概念シラバス、機能シラバス、場面シラバス、話題シラバス、構造シラバス、タスクシラバスなどがある。

8. リソース教材

教師や友達などの人的資源、資料や機器など物的資源の中から、学習者が自分の目的に応じて選び学習する教材群のことで、教師から与えられた教材で学習する従来のやり方とは違い、学習者の自主性や主体性、計画性を高める効果などが期待できる。

9. FonF (Focus on form)

意味の伝達に焦点を置いた活動の中で、学習者の注意を必要に応じて言語形式に向けさせる指導方法のことで、具体的には、インプット洪水やリキャスト、プロンプトなどのフィードバックを与える方法などがある。

10. コーダー

英国の応用言語学者。誤用の重要性を学習者、教師、研究者の3者の立場から主張し（1967）、誤用分析研究が始まる。しかし、誤用には回避という限界があることもわかり、正用も含めた中間言語研究へと移っていった。

出題意図：

purpose of Questions：

【問題1】

＜A群＞

出題意図：日本語教師として求められる基礎的な文法知識を有しているかを確認する。

採点のポイント：1. 現代日本語の形容詞分類としては、形式上の分類であるイ形容詞、ナ形容詞の分類や、意味・機能上の分類である属性形容詞、感情形容詞の区分などがあることを正確に論述すること、2. 現代日本語において数量詞とは数詞＋助数詞の連語を指す。日本語の数量詞

は副詞の位置（鉛筆を 3 本持っている）、形容詞の位置（3 本の鉛筆を持っている）、名詞同格の位置（鉛筆 3 本を持っている）など、自由な位置に現れるように見える現象を数量詞浮遊現象（quantifier float）と言う。例文を用いて適切に説明されていること。

【問題 1】＜B 群＞

出題意図：日本語や日本語教育に関する基礎的な知識を有しているか確認すること。

採点のポイント：1. 日本語指導に関する用語や概念、2. 日本語指導における留意点、3. 日本語指導の具体的な内容、の 3 点について適切に説明されていること。